



平成24年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年1月12日

大

上場会社名 株式会社ライフフーズ

上場取引所

コード番号 3065

URL <http://www.meshiya.co.jp>

代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）清水三夫

問合せ先責任者（役職名）常務取締役兼執行役員 総務本部長兼経理部長（氏名）吉岡利行（TEL）06(6338)8331

四半期報告書提出予定日 平成24年1月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年2月期第3四半期の業績（平成23年3月1日～平成23年11月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年2月期第3四半期	8,952	0.7	292	43.5	311	38.1	210	—
23年2月期第3四半期	8,885	1.3	203	2.1	225	△0.0	△109	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第3四半期	11 51	—
23年2月期第3四半期	△5 99	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
24年2月期第3四半期	7,940	3,410	43.0	186 39
23年2月期	7,887	3,200	40.6	174 87

（参考）自己資本 24年2月期第3四半期 3,410百万円 23年2月期 3,200百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年2月期	—	0 00	—	—	—
24年2月期（予想）	—	—	—	0 00	0 00

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成24年2月期の業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	11,789 1.1	275 47.1	295 38.4	166 —	9 10

（注）当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年2月期3Q	18,302,000株	23年2月期	18,302,000株
24年2月期3Q	1,667株	23年2月期	1,667株
24年2月期3Q	18,300,333株	23年2月期3Q	18,300,333株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
【第3四半期累計期間】	7
【第3四半期会計期間】	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により経済活動は急速に落ち込み、継続的な円高や、タイで発生した洪水の影響など不安定な環境の中で先行き不透明な状況が続いております。また、サプライチェーンの復旧による生産活動の回復で景気の上昇が期待されますが、放射能汚染による風評被害等による個人消費の低迷、米国経済の回復の遅れや欧州金融不安等予断を許さない状況となっております。

外食産業におきましても、原発問題による自粛ムードは緩和されてきましたが、依然として節約志向は強く、厳しい経営環境が続いております。当社におきましては、東日本で営業活動をおこなっていないため、直接的な被害はありませんでした。震災により一部では不足した商品がありましたが、代替商品で対応し、お客様には安全・安心な商品を提供してまいりました。

このような環境の中、一汁三菜をコンセプトに、旬の素材を使った高品質とおいしさにこだわった低価格定食屋業態「街かど屋」を事業の柱として店舗展開をおこなっております。並行して、できたてメニューにこだわった「ザめしや」等の既存店舗の強化と、店舗開発及び不採算店舗の撤退を進めております。

また、販売促進活動を実施しており、「讃岐製麺」ではうどん5杯食べたら1杯無料等のいっぱい食べて1杯お得キャンペーン、「街かど屋」ではスタンプカードや携帯クーポンメールの配信等、消費者ニーズに対応したフェアを通じて企業価値の向上に努めております。

当第3四半期累計期間の店舗展開につきましては、新規出店が4店舗、閉店が5店舗となった結果、店舗数は117店舗となりました。以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、既存店売上高の増加による影響で、売上高は8,952,230千円（前年同四半期比 0.7%増）、営業利益は賃借料の減少等コスト削減効果の影響で292,248千円（前年同四半期比 43.5%増）、経常利益は311,063千円（前年同四半期比 38.1%増）、四半期純利益は210,606千円（前年同期は四半期純損失 109,576千円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,298,183千円（前事業年度末は3,973,804千円）となりました。設備投資や納税等の支払いがありましたが、銀行から400,000千円の資金調達をしたことにより現金及び預金等が増加したためです。有形固定資産は、閉店による特別損失の計上の影響で1,990,736千円（前事業年度末は2,077,930千円）、投資その他の資産は差入保証金の回収が進んだことで1,606,380千円（前事業年度末は1,791,198千円）となり、資産の部合計は、7,940,480千円（前事業年度末は7,887,007千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の増加等がありましたが、1年内返済予定の長期借入金の減少により、2,029,403千円（前事業年度末は2,089,201千円）となりました。固定負債は、長期借入金の減少等により2,500,129千円（前事業年度末は2,597,599千円）となり、負債の部合計は4,529,532千円（前事業年度末は4,686,801千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の増加等により3,410,947千円（前事業年度末は3,200,205千円）となりました。これにより、当第3四半期会計期間末の自己資本比率は43.0%（前事業年度末は40.6%）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

純既存店売上高の増加と、販管費等のコスト削減に取り組んだ結果、平成23年10月12日に「平成24年2月期第2四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を適時開示しております。通期業績予想の売上高は前回予想から修正ありませんが、営業利益、経常利益、当期純利益はそれぞれ修正いたしました。

当期の見通しとしましては、売上高は11,789,085千円（前年同期比 1.1%増）、営業利益は275,912千円（前年同期比 47.1%増）、経常利益は295,679千円（前年同期比 38.4%増）、当期純利益は166,511千円（前年同期は当期純損失 225,919千円）を見込んでおります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

- ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前事業年度末以降に経営環境等、かつ、一次差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを使用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期累計期間の営業利益は3,425千円、経常利益は3,695千円それぞれ減少し、税引前四半期純利益は62,419千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による差入保証金の変動額は58,724千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,851,517	3,485,807
売掛金	10,386	9,175
商品	8,710	6,695
原材料及び貯蔵品	54,055	50,887
繰延税金資産	124,457	113,395
その他	249,054	307,843
流動資産合計	4,298,183	3,973,804
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,737,889	1,821,510
その他	252,846	256,420
有形固定資産合計	1,990,736	2,077,930
無形固定資産	45,181	44,073
投資その他の資産		
差入保証金	1,255,396	1,408,473
繰延税金資産	206,278	212,789
その他	145,214	170,445
貸倒引当金	△510	△510
投資その他の資産合計	1,606,380	1,791,198
固定資産合計	3,642,297	3,913,202
資産合計	7,940,480	7,887,007
負債の部		
流動負債		
買掛金	313,464	282,764
1年内償還予定の社債	40,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	681,265	901,297
未払法人税等	69,390	62,482
賞与引当金	181,514	111,776
その他	743,768	710,880
流動負債合計	2,029,403	2,089,201
固定負債		
社債	120,000	70,000
長期借入金	1,497,691	1,638,600
長期預り保証金	155,887	162,364
退職給付引当金	261,049	256,581
その他の引当金	68,498	65,787
その他	397,001	404,266
固定負債合計	2,500,129	2,597,599
負債合計	4,529,532	4,686,801

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成23年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	35,277	△175,329
自己株式	△382	△382
株主資本合計	3,410,947	3,200,341
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	—	△135
評価・換算差額等合計	—	△135
純資産合計	3,410,947	3,200,205
負債純資産合計	7,940,480	7,887,007

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)
売上高	8,885,724	8,952,230
売上原価	2,629,383	2,678,883
売上総利益	6,256,341	6,273,346
販売費及び一般管理費	6,052,681	5,981,098
営業利益	203,659	292,248
営業外収益		
受取利息	5,789	5,879
受取家賃	203,247	191,603
その他	43,498	40,810
営業外収益合計	252,535	238,293
営業外費用		
支払利息	31,757	32,729
賃貸収入原価	193,305	182,303
その他	5,952	4,446
営業外費用合計	231,015	219,478
経常利益	225,179	311,063
特別利益		
過年度損益修正益	—	2,739
固定資産売却益	—	35,000
受取補償金	48,619	66,666
特別利益合計	48,619	104,405
特別損失		
有形固定資産売却損	5,224	—
有形固定資産除却損	73,115	30,398
減損損失	204,017	36,474
固定資産臨時償却費	18,427	—
店舗閉鎖損失	65,149	9,628
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	58,724
その他	5,755	14,368
特別損失合計	371,690	149,594
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△97,891	265,874
法人税等	11,684	55,268
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△109,576	210,606

【第 3 四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期会計期間 (自 平成22年 9 月 1 日 至 平成22年11月30日)	当第 3 四半期会計期間 (自 平成23年 9 月 1 日 至 平成23年11月30日)
売上高	2,894,303	2,867,283
売上原価	865,460	863,442
売上総利益	2,028,842	2,003,840
販売費及び一般管理費	1,980,969	1,934,915
営業利益	47,872	68,924
営業外収益		
受取利息	1,658	1,996
受取家賃	67,688	62,110
その他	13,604	12,462
営業外収益合計	82,951	76,569
営業外費用		
支払利息	11,086	10,388
賃貸収入原価	64,414	59,431
その他	1,247	905
営業外費用合計	76,748	70,725
経常利益	54,075	74,768
特別利益		
受取補償金	48,619	—
特別利益合計	48,619	—
特別損失		
有形固定資産売却損	5,224	—
有形固定資産除却損	31,163	1,100
減損損失	17,166	—
店舗閉鎖損失	20,721	815
特別損失合計	74,276	1,915
税引前四半期純利益	28,418	72,853
法人税等	△3,733	42,473
四半期純利益	32,151	30,379

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。